

第 2 次沼津市子ども読書活動推進計画の進捗状況及び評価

1 項目別の進捗状況

※ 項目番号は、第2次沼津市子ども読書活動推進計画「第4章 施策の方向」の項目番号

【評価基準】

展開する施策の目標		努力目標	
「継続的、計画的に実施した」または「学校、保育所等の施設実施率が70%以上」	A・a	目標を達成した	A
「ときどき実施した」または「学校、保育所等の施設実施率が40%以上70%未満」	B・b	目標を概ね達成した	B
「ほとんど実施しなかった」または「学校、保育所等の施設実施率が40%未満」	C・c	目標に大幅に達しなかった	C
施策が終了した(新たな施策に変わった)	D・d		

1 家庭における読書活動 (2) 家庭に対する支援

B

展開する施策の目標				努力目標					
大項目		小項目		目標項目	H24	R2	目標	評価	
◎家庭での読書活動を推進するための啓発活動	A		・「パパとママの教室」で読み聞かせボランティアによる絵本の紹介と読み聞かせの実施	d	幼児への読み聞かせをしている家庭の割合	96.8%	85.3%	99%	B
			・7か月児健康相談時の読み聞かせの実施、絵本1冊のプレゼント(ブックスタート)	a					
			・2歳児歯科健康診査時の読み聞かせの実施、絵本選び及び絵本1冊プレゼント(ブックステップ)	a					
			・「子育てサポートキャラバンびよびよ」に絵本コーナーを設けるなど、身近に本とふれあえる場の提供(ブックフォロー)	a					
◎各家庭教育学級において、お話し会や読み聞かせの実施	B		・県子ども読書アドバイザーの活用をはじめ、読み聞かせなどに対応できるまちの識者の登録を増やす働きかけ	b					
◎「家読(うちどく)」を勧める活動	B		・家庭の中で、テレビやゲーム等を止める取りきめをして、親子で読み聞かせや読書を通してふれあう「家読(うちどく)」を勧める活動を、広報や幼稚園・保育所(園)、小中学校、図書館など各分野で呼びかけ	b					
			・各種講座などの機会に、読み聞かせを通じた子どもと本とのふれあいの大切さを、祖父母など幅広い層に呼びかけ	b					

2 幼稚園・保育所(園)における読書活動

B

展開する施策の目標				努力目標				
大項目		小項目		目標項目	H24	R2	目標	評価
◎子どもが本を自由に手にとり、見ることができる環境の整備	A			図書コーナーを設置している園の割合	96.4%	98.1%	100%	B
◎日常保育における読み聞かせやお話し会や図書館訪問など、読書に親しむ機会の充実	A			読み聞かせ等を実施している園の割合	94.6%	96.2%	100%	B
◎幼稚園・保育所(園)のたよりや保護者会等を通じて、読書の大切さや子どもの発達段階に応じた本を紹介するなどの啓発活動	A			読書の大切さについて保護者への啓発に取り組んだ園の割合	85.7%	78.8%	90%	B
◎教諭や保育士に対する図書資料や読書指導等の研修の充実	B							

3 学校における読書活動

B

(2) 読書指導の充実

B

展開する施策の目標				努力目標					
大項目		小項目		目標項目	H24	R2	目標	評価	
◎読書時間の確保	A		・朝の読書活動や読書週間(月間)等、校内一斉に読書に取り組む時間の設定	a	朝読書、読み聞かせ等全体で取り組む読書活動をしている学校の割合	100%	100%	100%	A
◎読み聞かせ等の実施	B		・教師やボランティア等による読み聞かせ活動	a					
			・子ども同士(同学年、異学年)による読み聞かせ活動	a					

		・子どもたちによる朗読の発表（校内放送、集会等）	c
		・読み聞かせに適した図書の紹介（市立図書館や他校との連携）	c
◎推薦図書や必読図書の選定	A	・発達段階や学校の特色に応じた推薦図書や必読図書の選定・紹介	a
		・推薦図書、必読図書を完読した子どもの賞揚	b
◎授業等における読書活動の充実	A	・各教科、特別活動、総合的な学習の時間における学校図書館の利用	a
		・読書指導及び図書館利用指導の年間計画の作成	a
		・沼津ゆかりの文人（井上靖・芹沢光治良・若山牧水・大岡信等）の作品の紹介及び活用	b
		・新聞や科学雑誌などを含め、「幅広い読み物」にふれる機会の充実	b
		・学校図書館及び市立図書館の利用方法の指導	a
◎幅広い読書案内	A	・本の紹介カード、読書郵便等の子ども同士による読書案内	a
		・学校と市立図書館の連携及び情報交換	c
		・ブックトーク、アニメーションなど多彩な読書活動の展開	a

子ども読書の日に関連して読書啓発に取り組んだ学校の割合	小16.7%	小20%	小70%	C
	中11.1%	中6%	中70%	
読書週間に関連して読書啓発に取り組んだ学校の割合	小54.2%	小45%	小100%	C
	中22.2%	中6%	中100%	

(3) 人的環境の充実 **B**

展開する施策の目標			
大項目		小項目	
◎校内体制の充実	B	・司書教諭、図書担当を中心として全教職員が協力して読書活動推進に取り組む体制づくり	b
		・配置された学校司書の効果的な活用と、巡回回数、勤務時間の充実などの検討	a
		・学校図書館の効果的な活用、読書指導の工夫等、教職員の実践に役立つ情報の提供	b
		・市立図書館や教職員研修センターとの合同研修会や連絡会の企画	c
◎図書委員等の活動の充実	B	・アイデアを活かした掲示物や図書館だより等の作成	a
		・読書集会や読書週間等の行事の計画や運営	c
		・市立図書館での体験学習の実施	b
◎ボランティアとの連携	B	・読み聞かせ等読書活動の支援	b
		・学校図書館整備及び運営への協力	b

努力目標				
目標項目	H24	R2	目標	評価
司書教諭や図書担当としての仕事をする時間が、十分確保されていると答えた学校の割合	35.7%	42%	50%	B

(4) 学校図書館の機能の充実 **B**

展開する施策の目標			
大項目		小項目	
◎効果的な選書・購入	A	・沼津市に関する資料や子ども、保護者、教職員に対する希望図書調査等に基づいた選書	a
		・沼津市に関する資料や沼津ゆかりの文学作品の充実	b
◎学校図書館の整備	A	・余裕教室や空きスペースを活用した読書スペースの整備	a
		・学習センター的機能の充実（学習に必要な図書の充実、情報を収集するための手段の整備）	b
		・子どもの興味やニーズに合わせた図書紹介コーナー	a
		・書架の配置や掲示物の工夫	a
◎市立図書館及び他校との連携	B	・市立図書館のレファレンス機能（情報や参考資料の提供サービス）の活用	b
		・学校と市立図書館との情報交換の場の設定	b

努力目標				
目標項目	H24	R2	目標	評価
学校図書館の図書標準達成率	小100%	小100%	小100%	A
	中83.2%	中97%	中100%	

		・インターネットを利用した各学校の図書及び図書館蔵書情報の検索並びに活用	c
		・学校間での貸し借り	c
P T Aや地域の協力	B	・本の修理、整理、登録等における協力を依頼	b

(5)家庭への啓発	B
-----------	----------

展開する施策の目標			
大項目		小項目	
◎各種たよりの活用	B	・図書館だよりや学級、学年、学校だよりによる情報提供	b
◎家族読書及び親子読書等「家読（うちどく）」の勧め	B	・毎月1回は家庭読書の日（テレビを消して親子で本に親しむ時間を設ける）	b

努力目標				
目標項目	H24	R2	目標	評価
保護者に対し、家庭読書、親子読書、読み聞かせなどを勧める活動に取り組んでいる学校の割合	33.3%	45%	50%	B

4 市立図書館における読書活動	B
-----------------	----------

展開する施策の目標			
大項目		小項目	
◎読書活動を推進する環境づくり	A	・子どもが安心して読書を楽しめる空間づくり	a
		・魅力ある本を自由に読めるスペースの確保と資料の充実	b
		・「子どもの本」の楽しさを知るための講座、講演会の開催	a
		・図書館を身近に感じるための子ども向けイベントの開催	a
		・図書館や利用者からのおすすめ本の紹介活動	a
◎ボランティアの育成と支援	B	・ボランティア育成講座の開催	a
		・ボランティアとの協働によるお話し会等の図書館内外における開催	b
		・お話し会や読み聞かせの研修会、講習会の開催	a
		・読み聞かせ等ボランティア活動への支援	b
◎啓発活動の推進	B	・関係機関との連携による子ども読書活動推進のための啓発リーフレットの作成と配布	a
		・書店組合等と連携した子ども読書活動推進の啓発活動	b
		・図書館ホームページ子ども用ページの充実	b
◎レファレンスサービス等の充実	A	・図書館職員の資質向上を図るための研修等の拡充	a
		・子どもの情報活用能力向上のための支援（利用案内や調べ学習の資料提供等）	a
		・リーフレット「本はともだち」の作成等、読書活動を進めるための情報提供サービスの充実	a
◎中・高校生向けのヤングアダルトコーナーの充実	B	—	b
◎地区センター図書室への支援体制の充実	A	・地区センター図書室巡回指導員の配置等による支援体制の拡充	a
◎幼稚園・保育所（園）、障害者施設等への団体貸出や図書館の除籍された資料を再活用として提供するなどの支援	A	—	a
◎学校での読書活動の支援	B	・図書を購入する際の参考資料としての情報提供	a
		・巡回文庫の運行や団体貸出による学校図書館資料の充実	a
		・県立中央図書館が実施する「テーマ絵本貸出」の中継地として学校図書館の利便性の向上の支援	b
		・図書館見学の受入れなどによる図書館活用方法などの情報提供の充実	b

努力目標				
目標項目	H24	R2	目標	評価
児童図書の蔵書冊数 (12歳以下の子ども一人あたり)	6.3冊	8.0冊	8冊以上	A
児童図書の年間貸出冊数 (12歳以下の子ども一人あたり)	16.5冊	17.6冊	20冊以上	B
図書館による「おはなしの会」等の開催回数	55回	60回 (R元)	70回	B

		・「夏休み図書館子ども探検隊」(*30)などによる小中学生の図書館体験学習の受け入れ	a
		・学校との連携により、学校図書館支援のための担当者研修・連絡体制の整備	b
◎障害のある子どもの状態等に 応じた読書活動	B	・点訳図書、音訳図書、さわる絵本、拡大図書など障害のある子どものための資料収集の継続	b
		・ボランティア主催の研修会ほか活動への支援	a
		・図書館におけるユニバーサルデザインの推進	b

5 地域における読書活動 (1) 地区センター等公共施設における取組	A
------------------------------------	---

展開する施策の目標		
大項目		小項目
◎家庭教育学級等における読書活動啓発の支援	A	—
◎地区センター図書室利用推進のための広報等の充実	A	
◎地区センター図書室の図書の充実	A	
◎地区センター図書室巡回指導員による地区センター図書室の機能向上と地域の情報収集	A	
◎放課後児童クラブ等への図書館資料の団体貸出による支援	A	
◎市立図書館との連携により、保護者への本の紹介などの啓発活動	A	

努力目標				
目標項目	H24	R2	目標	評価
地区センター図書室児童書貸出数	27,165冊	R2 20,257 R元27,415冊	35,000冊	B
放課後児童クラブ等への団体貸出数	2団体	32団体	7団体	A

2 第2次沼津市子ども読書活動推進計画の評価

努力目標【全体】				
目標項目	H24	R2	目標	評価
本を読むことが好きだと答えた子どもの割合	79.1%	76.3%	90%	B
週に1度は家庭で本を読む子どもの割合	59.1%	79.4%	90%	B

「努力目標【全体】」の達成状況としては、「本を読むことが好きだと答えた子どもの割合(アンケート調査)」は、第1次計画終了時に79.1%であったが、第2次計画終了時には76.3%と、2.8%の減となった。一方、「週に1度は家庭で本を読む子どもの割合」は、59.1%から79.4%と、20.3%の増となった。本が好きな子どもの割合はほぼ一定であるものの、読書習慣の伸びが大きく見られることから、今後とも、各分野ごとにきめ細かな施策を継続することで、発達段階に応じて子どもたちが読書習慣を身に付けられるよう取り組んでいくことが大切である。

「1項目別の進捗状況」では、「家庭」「幼稚園・保育所(園)」「学校」「市立図書館」「地域」と、子どもたちが活動する場や施設ごとの読書活動状況を検証したところ、Aが1項目、Bが4項目であったことから、計画全体の進捗状況はBとなる。

以上のことから、「第2次沼津市子ども読書活動推進計画」は、概ね計画どおり達成できたものと評価する。

なお、学校での朝の読書活動が、平成24年度に実施した第1次計画のアンケート、令和2年度に実施した第2次計画のアンケートとも100%で目標も達成されており、10年間以上継続して実施していることが、子どもの読書習慣に効果をもたらしたものとする。